

= I N D E X =

- 【1】 龍谷大学 REC 設立 30 周年記念シンポジウム  
「持続可能な社会創造のために大学ができること～仏教 SDGs～」の御案内
- 【2】 「伏見みなとの賑わい広場～水辺の利活用に向けて～」の御案内

=====

【1】 龍谷大学 REC 設立 30 周年記念シンポジウム  
「持続可能な社会創造のために大学ができること～仏教 SDGs～」の御案内

=====

らくなん進都整備推進協議会会員団体の龍谷大学が、龍谷エクステンションセンター（REC）設立 30 周年記念のシンポジウム「持続可能な社会創造のために大学ができること～仏教 SDGs～」を開催いたします。中井環境事務次官，三日月滋賀県知事，佐藤大津市長，入澤学長が龍谷大学に一堂に会し，地域と大学の持続的成長について考えます。日曜日のオンライン開催になりますが，持続可能な社会実現のために大学と社会のありかたを考える場として，多くの方々に参加いただきたいと思います。

- 日 時：11月7日（日）13時～16時45分
- 開催方法：YouTubeによるオンライン開催（ライブ配信）
- 内 容：

1) 基調講演 中井 徳太郎 氏（環境事務次官）

「持続可能な地域社会の構築に向けて」

気候変動と新型コロナウイルスという2つの危機の克服に向け，持続可能な社会を構築する必要がある。そのために環境省では，脱炭素社会，循環経済と分散型社会への「3つの移行」を通して，経済社会をリデザイン（再設計）することを目指しており，その取組の具体化として地域循環共生圏の創造を推進していく。

2) 特別講演 入澤 崇（龍谷大学学長）

「地球環境と仏教」

人間をはじめとする「命あるもの（衆生）」の営みは地球環境の中でなされ，衆生は地球環境に依存している。ところがいま，人間の営みが地球環境に危機を招いている。人間という存在を厳しく見つめる仏教に照らして，環境問題を考える糸口を見出したい。

3) 特別講演 木村 睦（龍谷大学 REC センター長）

「エクステンションのこれまでとこれから」

4) 事例報告（社会課題解決型ベンチャー）

①（株）RE-SOCIAL 代表取締役 笠井 大輝 氏

2019年11月 創業（当時大学4年生）ジビエ肉狩猟・加工・販売

地域の課題解決に取り組む本学政策学部ゼミの学生3名が，京都北部の獣害対策の現場を見に行ったことから起業

②（株）革靴をはいた猫 代表取締役 魚見 航大 氏

2017年3月創業（当時大学4年生）靴磨きサービス，靴磨き研修・講演

深草キャンパスカフェ樹林で働いていた学生3名が、学生と障がいのある若者が共に成長する飲食業だけでなく、多様な仕事に挑戦すべきだと考え起業

#### 5) パネルディスカッション

「仏教SDGs×三方良し～地域と大学が持続的に成長するために～」

持続可能な社会実現のためには地域と大学には何が必要であるのかを、仏教SDGs・地域と大学の連携、大学の新たな価値創造・社会連携、コロナ禍をきっかけとする社会変革・カーボンニュートラル等を踏まえ、龍谷大学ならではのエクステンションやREC設立30周年を顧みながら考える。

#### <パネリスト>

環境事務次官 中井 徳太郎 氏

滋賀県知事 三日月 大造 氏

大津市長 佐藤 健司 氏

龍谷大学学長 入澤 崇

龍谷大学RECセンター長 木村 睦

#### <モデレーター>

龍谷大学学長補佐 深尾 昌峰

○申込方法：参加費は無料。※配信は龍谷大学瀬田キャンパスから行う予定。

こちらのサイト からお申し込みください。※締切日 11月3日（水祝）

[https://event.rec.seta.ryukoku.ac.jp/30th\\_anniversary\\_symposium/](https://event.rec.seta.ryukoku.ac.jp/30th_anniversary_symposium/)

○お問合せ先：REC 事務部（滋賀） 藪田

Email:rec@ad.ryukoku.ac.jp

Tel:077-544-7291

---

## 【2】「伏見みなとの賑わい広場～水辺の利活用に向けて～」の御案内

---

令和3年4月に国内唯一の河川港湾として伏見港が「みなとオアシス」に登録されました。みなとオアシスとは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、国土交通省が登録するもので、伏見港は全国で148箇所目の登録となります。

この「みなとオアシス」登録を契機としたまちづくりの気運のさらなる盛り上げと、今後の再整備に向けた水辺空間の利活用等を試行するため、「伏見みなとの賑わい広場～水辺の利活用に向けて～」を開催いたします。

○主催：「川のみなとオアシス 水のまち 京都・伏見」運営・まちづくり協議会

○日時：11月13日（土）11時～17時、14（日）11時～16時（各日、小雨決行／荒天中止）

○会場：伏見みなと広場及び伏見港公園

○概要：

・みなとマルシェ

伏見の特産品等の物販、キッチンカーの出店、市民活動団体のPRブースなど

・伏見みなとでサップ体験

水辺空間の利活用として水上アクティビティ（サップ）を実施

- ・伏見みなとあかり

11月13日（土）17～19時には、本催しに引き続き、伏見みなと公園広場において、民間団体主催の和ろうそくの灯りなどによる夜の賑わい実証実験の実施

○同時開催イベント：

- ・龍馬祭（11月14日）

竜馬通り商店街の恒例イベント。今年は本イベント会場でパレードなどを実施。

- ・秋の背割堤－伏見クルーズ舟運社会実験（11月13日～14日）

国土交通省淀川河川事務所による、背割堤船着場（八幡市）と三栖閘門仮設船着場（伏見）間をクルーズ船で行き来できる社会実験。

- ・城南宮企画展『伏見 港の賑わい』（10月30日～12月15日）

洛南保勝会所属の城南宮による「みなとオアシス」登録を記念した企画展。江戸・明治の紙看板、名所図会、地図、絵葉書などから川のみなと伏見の賑わいを知ることができます。

- ・酒蔵のまち京都・伏見酒粕グルメさんぽ（10月30日～令和4年1月23日）

伏見酒造組合（京阪ホールディングス（株）協力）による、京都・伏見の酒粕を使用したバラエティ豊かな酒粕グルメ企画（参加13店舗）

- ・伏見連続講座『史跡探訪ツアー「伏見港公園周辺の散策」』（11月13日）

伏見楽舎による伏見港界隈のまち歩き

○お問合せ先：伏見区役所地域力推進室企画担当 電話：075-611-1295

\*\*\*\*\*

らくなん進都整備推進協議会メールマガジン 第130号 2021/11/1

編集・発行／らくなん進都整備推進協議会 事務局

本メールマガジンに関するお問い合わせ先

mailto : rakunan-shinto@kyoto-nanbu.org

TEL.075-354-8701 FAX.075-354-8704（京都市景観・まちづくりセンター 担当：金森）

\*\*\*\*\*